

●「高知県の障害者福祉問題」

私たちは高知県の障害者福祉について調べました。テーマ設定理由の一つ目は、障害者福祉問題は高知県の抱える大きな問題の一つだということです。高知県は、今、日本で最も高齢者の比率が高い県となっています。その中で福祉関係、特に障害者福祉は問題になっていると聞き、自分たちで調べてみたいと思いました。二つ目は、私たちの班員の身内に障害のある方がいて、自分に何かできることがあれば改善していきたいと聞き、このテーマにしました。

私たちは障害者福祉について調べるにあたって、障害者自立支援法という障害者の自立支援推進を図る法律にぶつかりました。この最大の利点は、共通のサービスを受けられるようになったことと、負担金が1割だけになり残りは国が負担してくれることです。また、1割負担になったおかげで利用する人が少しずつ増えてきました。しかしその反面、問題点もたくさんあり、最も大きな問題点は、1割負担があることで利用できない人がいることです。また、法律の内容にも多くの問題があり、障害者に対して優しくない内容もあるそうです。

私たちは法律の運用と障害者福祉の実態を知るために、生活介護を行っている施設へ見学に行きました。サービス内容は、利用者さんを送迎して入浴したり、食事をしたりなど、生活の一部を提供することです。この施設で働いている方と利用者さんにインタビューをしてみました。まず、利用者は、「今の日常生活で不便に思っていることは何ですか」に対して、



「外出をするのは簡単ではない。テーブルや洗面台など高さが限定されている。バリアがある」ということでした。「自立支援法について思うところはありますか」と伺うと、「払えない人は利用できないから1割負担をなくしてほしい」という答えが返ってきました。次に看護師の方は、自立支援法については、「利用しやすいサービスを受けられるように、また今のこの現実に対応した新しい法律に改善されればいいと思う」とおっしゃっていました。介護士の方は、自立支援法は、「公平・不公平がある。国が障害者に対してお金を支出してくれればいいが、それでは国の政治が成り立っていかない」という答えが返ってきました。最後に、「利用する方が必要とするニーズはできるだけ叶えられるようにしていますか」に対して所長さんから、「利用される方の話の中で要望を聞いたりして、必要としていることを見つける」という答えが返ってきました。また、「自立支援法について思うところはありますか」に対して、「なくてはならないもの。関わっていることは嬉しいし、頑張るもとになっている」とのことでした。インタビューをして分かったことは、この支援法に対して改善して欲しいことがたくさんあることでした。その中でどの方からも出たのは1割負担です。1割負担は障害が重いほど金額が高くなり、負担が大きくなります。私たちは、1割負担をなくすことができるのかと考えました。調べてみると財源確保が困難ということが出てきました。しかし、お金がないからと放置しても良いのでしょうか。そこで、高知県独自に何か活動を始めたらいいのではないかと考えました。人権教育の一環として高知での財源を作る、ボランティアを増やしたらいいのではないかと考えました。そうすれば、少しでも財源を集めることができるし、

ボランティアに参加することによって人権の大切さを理解する人が増えるかもしれません。国は国民のためにいろいろなことをやらねばならないと言っています。この問題はそれに当たると思います。

確かに、今すぐに改善してもらうことはなかなか難しいですが、私たちはあきらめずに国に訴え続けていきたいと思っています。このためには、もっとたくさんの人たちに福祉の実態を知って欲しいと思います。